

H30年度 高崎河川国道事務所工事等安全対策協議会（第2回） 工事等安全対策事例発表レポート①

日時：平成30年11月6日（火） 午後2時～午後4時
場所：群馬県市町村会館 2F 大研修室

○工事等安全対策事例発表

テーマ：「現場における安全対策に関する新技術の活用や工夫」
または
「働き方改革から始まる安全確保への取り組み※」

- ※ 働き方改革から始まる安全確保への取り組みについて
- 安全管理を行う上で、作業員の皆さんの健康管理も重要であると考えております。
 - 作業員の働き方を改革することによって、心の余裕や意欲を持たせ、安全に各人の能力を存分に発揮できる環境が作られると考えております。

H30年度 高崎河川国道事務所工事等安全対策協議会（第2回） 工事等安全対策事例発表レポート②

発表工事及び受注会社

工事名	受注会社名
①新上越橋上部工事	極東興和(株)
②H30大峰沢橋塗装塗替工事	清水塗工(株)
③H30高崎管内道路情報板設置工事	星和電機(株)
④H29・30烏・神流川維持工事	田中建設(株)
⑤H30・31高崎道路清掃作業	日掃工業(株)
⑥渋川西バイパス金井改良その3工事	宮下工業(株)
⑦H30桐生管内緑地管理工事	(株)山梅

①極東興和(株)

監理技術者



- ・ 新技術を活用した安全対策への取組
- ・ 働き方改革の取組みについて

新技術を活用した安全対策への取組

1. 安全帯使用の見える化「ゲンチ・ミテル」

安全帯のフックを掛けるだけで、ベストに内蔵されたLEDライトが点滅し、離れていても安全帯の使用状況を確認できる装置です。



NDシステム足場の使用現場



働き方改革の取組みについて

3. 社員の子育て支援

社内掲示ポスター



4. 若手職員の育成

新入社員研修(約1か月)

- ・ 社会人としての心構え、マナー
- ・ 橋梁構造物・施工管理の基礎知識
- ・ 現場体験
- ・ 同僚との意見交換会

建設現場でマンツーマン指導(約2年間)



H30年度 高崎河川国道事務所工事等安全対策協議会（第2回） 工事等安全対策事例発表レポート③

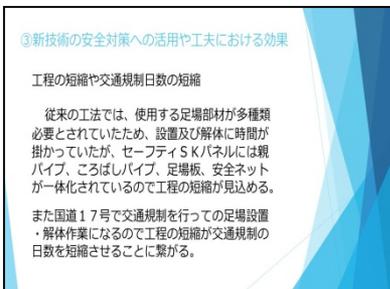
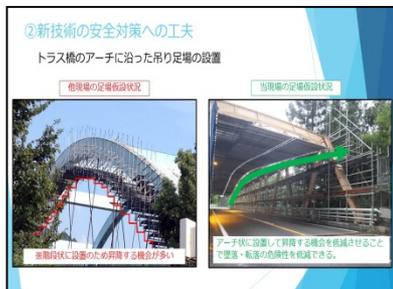
②清水塗工(株)

監理技術者



- ・ 新技術の安全対策への活用や工夫について

新技術の安全対策への活用や工夫について



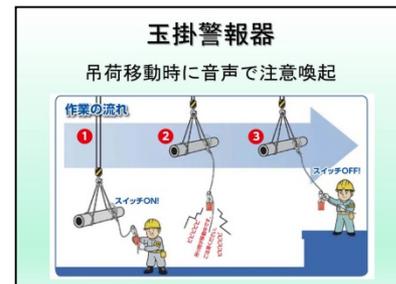
③星和電機(株)

主任技術者



- ・ 新技術の安全対策への活用や工夫

新技術の安全対策への活用や工夫



H30年度 高崎河川国道事務所工事等安全対策協議会（第2回） 工事等安全対策事例発表レポート④

④ 田中建設(株)

監理技術者



- 安全対策について

安全対策について

3. 除草作業時の安全対策

① 目走式草刈機

一般的なハンドガイド草刈り機とは違い操縦部の水平維持制御と対部のスライド機能を装備した草刈り機を使用しました。



ハンドガイド式草刈機フジカッタージョージ
NETIS QS-130010-A

③ 除草作業時の服装

第1回目の除草作業後、安全ハットロール等で指摘された内容から検討し作業員・監視員がより目立つようにしました。



オレンジ色で統一した安全ベスト、ヘルメットカバーを使用

4-1 広範囲の堤防平面図に危険箇所を記入



4. 熱中症対策

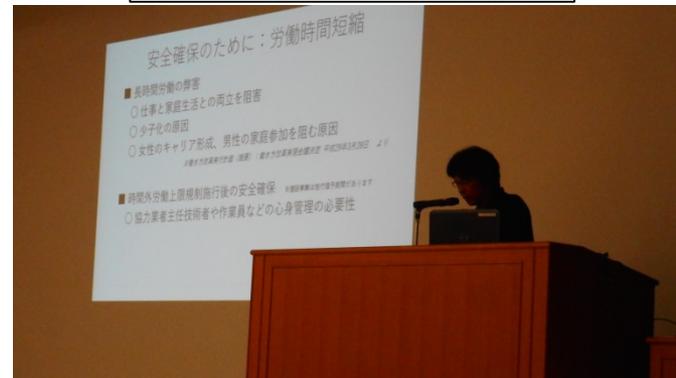
① 熱中症指数計の活用



のぼり旗による注意喚起
4色による区別

⑤ 日掃工業(株)

現場代理人



- 建設業働き方改革から始まる安全確保の取り組み

建設業働き方改革から始まる安全確保の取り組み

建設業働き方改革加速化プログラム

- 長時間労働の是正
 - 週休2日制の導入を後押しする
 - 各発注者の特性を踏まえた適正な工期設定を推進する
- 給与・社会保険
 - 技能や経験にふさわしい短縮（給与）を実現する
 - 社会保険への加入を建設業を営む上でのミニマム・スタンダードにする
- 生産性向上
 - 生産性の向上に取り組み建設企業を後押しする
 - 仕事を効率化する
 - 優れた人材・資機材の効率的な活用を促進する
 - 重層下請構造改善のため、下請次削減方法を検討する

※「国土交通省HP・報道・広報・政策発表資料」『建設業働き方改革加速化プログラム』を要約より

休日の確保・労働時間の短縮

- 週休二日制制度
 - 週休二日制制度 7社/7社（うち完全週休二日制 4社）
 - 3社はモデル工事として継続中
- 労働時間の短縮
 - 定時退社日の設置、一人一人の残業時間の見える化



生産性向上のための取り組み

- タブレットの活用
 - ペーパーレスの実践、どこでも業務ができ時間の削減
- 高齢者の活用
 - 本人希望で65歳まで雇用
 - さらに、会社・本人協議のうえ65歳以上も雇用可能
- 女性の活用
 - 快適トイレを導入し、女性作業員の受け入れを推進



安全確保のために：高齢者・女性の活用

- 高齢者・女性への配慮
 - 頑張らせすぎない
 - 作業内容を考慮【体力系の作業→機械操作】
 - 適度な休憩時間などの確保

⇨ 適所への配置

H30年度 高崎河川国道事務所工事等安全対策協議会（第2回） 工事等安全対策事例発表レポート⑤

⑥宮下工業(株)

監理技術者



- 安全の取り組みについて

安全の取り組みについて

システム概要

ヘルマシステムは(作業員)と(作業車両)に相互の接近を知らせて「衝突事故のリスクを低減する」ことを目的としたシステムです。

衝突回避のためのシステムとして、作業員と作業車両の接近を検知し、作業員に危険を知らせることで衝突を回避します。

磁界内

作業員が作業車両の磁界内に近づくと、作業員に危険を知らせることで衝突を回避します。

システムセット

機械取付状況 運転室内警報装置 作業員用警報装置

マーカーオメガ (マイクロプリズム反射材を利用した仮反ラインマーカー)

ラインアップ (4種類)

製品形状

●従来の奥行きが浅いマーカーと異なり、奥行きが深いため、車に踏まれてもすぐ元に戻ります。いろいろな箇所へ取り付け可能。

当工事では白を採用

●当工事での採用状況 (市道切通し区における舗装面に設置)

夜間時はヘッドライトの光で反射する為、仮ラインに比べ視認性が向上

長時間労働の是正

◎週休2日制モデル工事の導入

この工事では週休2日制モデル工事を導入し、土曜・日曜を休工としています。また、公衆の見やすい場所に予定表・取付状況を記載した看板を設置し、周辺住民へ情報提供を行っています。

週休2日制モデル工事

◎作業の分担化及び若手職員の育成

この工事では3名体制で現場管理や書類作成を行っています。書類作成においては職員のスキルに合わせた書類を分担化し、残業を極力なくすることで勤務外労働の短縮に取り組んでいます。

また、新卒で就労した職員が配属していますが、熟練した職員が建設工事における魅力や測量機器やパソコンの操作方法など分からないことをその経験豊富な、若手職員がやりがりのある職場づくりに取り組んでいます。

◎現場体制

熟練職員 若手職員 現場代理人

⑦(株)山梅

現場代理人



- 働き方改革から始まる安全確保の取り組み

働き方改革から始まる安全確保の取り組み

①システム導入による退社時間の短縮
その1:業務管理システム(eValue)の導入(2016年~)

①システム導入による退社時間の短縮
その3:安全パトロールシステム(I-Reporter)導入(2018年~)

②働きやすい職場環境の整備
事務所リニューアル

②働きやすい職場環境の整備
働きやすい職場を作った結果

女性社員割合

年次	女性社員割合
2017	2割
2018	3割
2019	4割

12人/12人